

ハーブ蚊取り線香作り

2020.7.10

西東京花の会ハーブ勉強会

最近ガーデンの作業をしていると、ブウ〜ンとイヤな羽音が聞こえてくるようになり、今年も蚊の季節がやってきましたね。

昨年から育てている除虫菊をメインに使い、虫除け作用のあるハーブ類も加えて手作りの蚊取り線香を作ってみましょう♪

ハーブは子孫を残すために自身で様々な成分を作り出しており、害虫から身を守る香り成分もその一つです。

自然の恵みを線香という形にして私たちも活用しましょう。

準備 容器、スプーン、ゴム手袋、ヘラ、ダンボール

材料 (乾燥させ粉状にしたものを使用)

タブ粉

スプーン 3 杯

除虫菊

ローズマリー、ゼラニウム他

} スプーン合計 3 杯

水

適量 (入れすぎないこと。粘土くらいの固さ)



作り方

- ① 容器に粉類を合わせ良く混ぜておきます。
- ② ①に水を少しずつ加えていき、粘土状にします。水を入れすぎると、べたついてまとまらないので様子を見ながら加えてください。
まだ粉っぽいぐらいで一度丸めてください。
- ③ 粘土状になったらダンボール板の上でコーン型や渦巻きなど、なるべく乾燥しやすく、ゆっくり長く燃えるように形を作ります。

***1~2 週間ダンボールの上で乾燥させます。**

乾燥が不十分だと途中で火が消えてしまいます。



材料について

タブ粉

クスノキ科タブノキ属の常緑高木のタブノキの枝葉を粉状にしたもの。
タブノキの枝葉は粘液を多く含むので、乾燥させて粉状にし、線香の粘結材として使用されます。
線香アレルギーの人はこのタブ粉が原因のことが多いです。



除虫菊

キク科多年草。正式名はシロバナムシヨケギクという白い菊の花です。

花期：5月～6月

利用部位：花

花のピレトリン成分に虫除け作用があるとされ、大日本除虫菊（金鳥）の創始者上山英一郎によって渦巻き型の蚊取り線香が発売されました。

人やペット、環境に安心、安全と言われていますが、鯉や金魚などの魚類やカエルなど両生類、カブトムシなどの昆虫類を飼っている場合、側では使用しないでください。

2019年5月17日のデジタル朝日新聞によると、戦前は広島県尾道市の因島や生口島が除虫菊の一大産地として有名だったそうで、国内外に多く取引されていました。因島は今でも観賞用の畑が5か所ほどあり、白い花が一面に咲く風景は夏の風物詩となっているそうです。毎年5月連休にはフラワーセンターで「除虫菊祭り」が開催されて、線香手作り体験や花摘み体験などあるようです。（今年は中止）



ローズゼラニウム(センテッドゼラニウム)

フウロソウ科多年草。別名を蚊連草とも言う。

花期：5～7月

使用部位：葉

香り成分のシトロネラルに蚊を寄せ付けない忌避作用があります。（蚊が好む二酸化炭素を察知できにくくなるとか言われています）

ローズマリー

シソ科低木

花期：11月～5月（種類による）

使用部位：葉

若返りのハーブとして人気がありますが、虫除けとしても利用されます。香り成分のカンファーなどに忌避作用があります。



その他にもレモングラスやペパーミントなども虫よけ効果があることが知られています。

お香として

ホワイトセージ

シソ科サルビア属 正式名サルビア・アピアナ。高さ 1.5m ほどになる常緑低木です。

花期 6月～8月白、紫

使用部位：葉



スマッジング

ホワイトセージは浄化のハーブとして知られています。

葉っぱに針葉樹の香りピネン類や柑橘類のリモネン、ユーカルやローズマリーの 1,8 シネオールなどの精油成分を多く含みます。

乾燥葉をお香のように燃やし、立ち上る煙で人や場の邪気を払うことをスマッジングといいます。パワーストーンなどの浄化にも使われています。

ワームウッド

葉っぱを匂い袋や花壇の縁取りに使用します。

キク科多年草。別名ニガヨモギ、アブシント、アルセムなど。

花期：6月～8月（風媒花。下向きに小さい花をつける）

利用部位：葉、茎



ヨモギの仲間です。茎、葉、花に独特の甘いような、苦いような独特の香りがあります。

ヨーロッパではアブサンなどの薬草系リキュールの香りづけで有名です。

葉に含まれる苦味成分のアブシチン等が殺菌、解熱、健胃、消化促進、利胆、駆虫、防虫などに効果があると言われてはいますが、ツジヨン（ツヨン）という精油成分に神経毒性があることから精油の長期の使用や妊産婦、てんかんの持病のある方は使用できません。

畑やガーデンでは駆虫、防虫効果があるので刈り取った葉っぱをすき込んだり、花壇の縁取りにしたり、コンパニオンプランツとして使います。

また乾燥させた葉っぱでサシェ（匂い袋）を作り、タンスやクローゼットに入れておくと、防虫になります。